

2018年、2019年の間に健康診断を受けられた方で
2020年5月1日～2020年6月30日の間に
健康診断・人間ドックを受けられた方およびそのご家族の方へ
—「新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛による
体重増加と代謝疾患への影響に関する研究」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学病院 総合内科・総合診療科 本多 寛之

1) 研究の背景および目的

新型コロナウイルス感染症の拡大予防のための外出自粛により、歩数減少など運動量の低下と体重増加が話題となっています。体重増加に伴う内臓脂肪の蓄積は、高血圧や脂質異常症、糖尿病といった生活習慣病に影響します。内臓脂肪の蓄積と生活習慣病が組み合わさると、心臓病や脳卒中などを引き起こす危険が高くなります。大規模な外出制限で、体重増加や生活習慣病への影響が懸念されますが、それらの関連性については不明です。これから生活様式が大きく変化する中で、体重を維持しながら、生活習慣病を予防することが重要と考えられます。本研究では、今回の外出自粛に伴う体重変化（増加）と生活習慣病との関連性について明らかにすることを目的としています。

2) 研究対象者

2020年5月1日～2020年6月30日の間に岡山大学病院の地域医療講座などに関連した共同研究機関で健康診断を受けられた方で、同施設で2019年と2018年にも健康診断を受診している方、約6683名を研究対象とします。

3) 研究期間

倫理委員会承認後～2025年12月31日

4) 研究方法

この研究では、先行研究である「新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛による体重増加と代謝疾患への影響に関する地域医療講座多施設共同研究（研2008-038）」の情報のみを用います。先行研究では、岡山大学病院の地域医療講座などに関連した共同研究機関で2020年5月1日～2020年6月30日の間に健康診断を受けられた方で、同施設で2019年と2018年にも健康診断を受診している方を対象としました。先行研究で得られた情報からは氏名、生年月日などの直ちに個人を特定出来る情報は削除されています。上記の情報を年度間で比較します。とくに、体重の変化と、生活習慣病に関連したデータの変化との間の関連性について調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、先行研究（研2008-038）で得られた以下の健康診断の結果を使用させていただきます。得られた情報からは氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除されてい

ます。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、喫煙の有無、飲酒の有無、運動習慣の有無、治療中の疾患名（糖尿病、高血圧、脂質異常症、高尿酸血症例、脂肪肝）、既往歴（心疾患、脳卒中）
- 2) 身体検査：身長、体重、BMI、ウエスト周囲径、血圧
- 3) 糖代謝：空腹時血糖値、HbA1c(NGSP)
- 4) 脂質代謝：総コレステロール、LDL コレステロール、HDL コレステロール、トリグリセリド
- 5) 肝機能：AST, ALT, γ GTP
- 6) その他：尿酸値
- 7) 腹部超音波検査：脂肪肝の有無
- 8) 腹部単純CT検査：内臓脂肪面積

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院総合内科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

本研究で得られた情報を将来新たな研究に用いる際は、改めて倫理委員会の承認を得てから使用します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ね下さい。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 総合内科・総合診療科

氏名：本多 寛之

電話：086-235-7342（平日：9時00分～17時00分）